

令和 8 年（2026 年） 9 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（２日目）

令和8年9月10日(木)

※1人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	仲 田 奨 司 (無所属クラブ)	1 交通政策について	L R T導入に向けた那覇市の現状と今後の展望について (1) 那覇市L R T整備計画の現在の検討状況及び今後のスケジュールを伺う (2) 慢性的な交通渋滞は沖縄県全体の課題であるが、本市における交通渋滞の現状について、どのように認識し、どのような対策を講じているのか伺う (3) L R Tの導入が、交通渋滞の緩和及び自家用車から公共交通への利用転換にどのような効果をもたらすと考えているのか、市の見解を伺う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 生活道路及び通学路の安全対策について	(1) 令和8年9月1日から、中央線等のない生活道路における自動車の法定速度が時速30キロメートルに引き下げられた。今回の法定速度引下げを踏まえ、本市は、通学する児童生徒や高齢者をはじめとする歩行者の安全確保について、どのように認識しているか伺う (2) 市内のスクールゾーンや生活道路において、幹線道路の渋滞を避けるための抜け道として利用され、速度を出して走行する車両が見受けられる。今回の法定速度引下げについて、市民への周知をどのように行うのか。また、警察、学校、地域住民等と連携し、路面標示、注意喚起看板、狭さく、ハンプ等の設置を含めた実効性ある速度抑制対策に、どのように取り組むのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 公園行政について	漫湖市民庭球場について (1) 漫湖公園の駐車場の駐車可能台数及び休日等の利用状況を伺う (2) 庭球場の予約について、現在は2時間を1枠としているが、利用者の利便性向上及び施設の有効活用の観点から、以前のように1時間単位で予約できる仕組みに変更することは可能か伺う (3) 庭球場の利用時間を、冬季を含め年間を通して午前7時から午後9時までとすることは可能か伺う (4) 砂入り人工芝コート of 維持管理状況及び砂の補充、バギー車などのブラッシング等の整備状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和８年９月１０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	西中間 久 枝 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 一人ひとりの尊厳が守られる市の取組について 2 障がい者雇用について 3 就労継続支援事業・事業所支援について 4 福祉避難所の設置・訓練について 5 DV被害者への支援について 6 生活保護制度・追加給付について	最高裁で2024年7月3日旧優生保護法を憲法違反と判断し、国の賠償責任を認め2025年1月から「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金等の支給等に関する法律」が施行されて今年の1月で1年が経過した 原告団、弁護士、優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会（優生連）は、法の施行から1年にあたり共同声明が提出された。那覇市の見解を問う 2026年（令和8年）7月1日から法定雇用率が2.8%から3.0%に引き上げとなった。本市の障がい者雇用の現状と課題を問う 2024年（令和6年）の国の就労支援事業報酬の改悪によって事業所廃業や報酬削減が全国で拡大し利用者が社会生活を送るうえで多大な影響が出ている。A型事業所の那覇市での経営状況や閉所、事業縮小の状況、A型事業所からB型事業所への移行等障がい者就労支援事業の状況と見解、課題を問う 福祉避難所への見解及び市の福祉避難所訓練等の進捗と課題を問う DV被害者への相談窓口での対応、相談件数、状況と課題を問う 生活保護基準引下げによる追加給付について、進捗を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 首里地域の 安全対策と保 全について	(1) 首里観音堂バス停、生活道、子ども達も通 学で通る道路沿いにあるブロック塀等から、 コンクリートの塊が落ちてくるのではないかと 危険な状況と心配する声が地域住民の方より 届いている。早急な対応への市の見解と対 応を問う (2) シマシービラのがけ崩れへの安全対策に ついて、これまでの定例会でも何度も求めて きた。台風襲来、大雨も続くなか地域の皆さ んからも不安の声がある 早急な対応が必要である。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（２日目） 令和８年９月１０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	上 里 た だ し (みんなの協働！) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 がん検診の 受診率向上に 向けて 2 N A H A マ ラソンについ て 3 故鎌倉芳太 郎氏の名誉市 民の追贈につ いて	がんの予防及び早期発見の推進を図る上では がん検診は重要な機会である。昨年度の実績と受 診者を増やすための取組について伺う 那覇市とハワイ州ホノルル市の姉妹都市締結 25 年を記念して、1985 年に第 1 回を開催し、コ ロナ禍での中断もありながら、今年 12 月には第 40 回記念 N A H A マラソンが開催される。そこ で以下、伺う (1) 直近 3 大会における県外、県内参加ランナ ーの割合について (2) ふるさと納税枠と一般エントリーの応募 状況について (3) 定員を 30,000 人とする理由について 今定例会で故鎌倉芳太郎氏を那覇市名誉市民 の選定の同意を求めることについての議案が提 案された。今年的那覇市制施行 105 周年記念式典 では記念舞台「ウナイ神のくれたものー鎌倉芳太 郎物語ー」が披露され、来場者にその存在と彼が 残した功績の偉大さを伝えたことを高く評価し たい 名誉市民として追贈されることを契機にさら に市民に彼の功績を周知させるために、彼の評伝 「首里城への坂道鎌倉芳太郎と近代沖縄の群像」 の著者、与那原恵氏を招いた講演会の実施を提案 したいが、見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 道路行政について	首里城公園上の毛（いーぬもう）地区入口に位置する、県が管理する広場内には国王頌徳碑が設置されている。この広場及び周辺環境においては、現在、雑草の過度な繁茂と樹木へのツタの巻き付きが見受けられ、適切な剪定作業が必要な状況にある。今後の首里城オープンに向け、那覇市としても、地域住民及び訪れる観光客双方に配慮した道路整備の実施について、県に対して対応を求める必要性について伺う
		5 災害時の医療体制について	令和6年9月時点で、災害医療活動に関する主な課題として、那覇市地域災害医療本部の設置に関して本市独自の設置基準がないことや、災害時に地域災害医療本部に参集し、医療救護活動に関する助言及び調整等を行う地域災害医療コーディネーターの任命及び配置に至っていないとされていたが、課題は解消されたのか伺う
		6 チョウの舞う街づくりに ついて	翁長元市長は、平成14年度の施政方針において、潤いと安らぎのあるまちづくりのため、「チョウの舞う街づくり推進事業」を実施すると述べたが、現在も本事業を推進しているのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（２日目） 令和８年９月１０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	上 原 ゆいな (なは自民・無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 こども性暴力防止法について 2 母子保健行政について 3 保育行政について	こども性暴力防止法、日本版ＤＢＳ制度施行に向け、本市が運営する施設をはじめ、指定管理、委託事業、民間の対象事業者等における現在の準備状況をどのように把握しているか伺う 妊娠期からの父親への支援について 妊娠、出産、産後は、女性の身体や精神状態に大きな変化が生じる時期である。産後うつやホルモンバランスの変化などについては、女性の中でも個人差があり、また当事者であっても、自らの心身に起きている変化を十分に理解したり、不調に気づいたりすることが難しい場合がある そのような中、父親をはじめとする家族が、事前の知識がないまま母親の変化を理解し、適切な支援につなげることはさらに難しいと考える 産後の母親本人への支援を充実させることに加え、最も身近で共に子育てを担う父親が、妊娠期から母親の心身の変化、産後うつの兆候、産後の生活、必要な支援や相談先等について学ぶ機会を設けることは、産後の不調の早期発見や孤立の防止にもつながると考えるが、本市における、妊娠期の父親を対象とした講座や両親学級等の実施状況、内容及び父親の参加状況について伺う (１) 保護者と保育施設との間で認識の相違やトラブルが生じた場合、本市はどのように状況を把握し、問題が深刻化する前に調整や支援につなげているのか伺う (２) 感染症回復期の登園判断と病児保育の狭間への対応について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 障がい福祉 について	発達障がい等に関する行政用語の見直しについて 日本精神神経学会では、精神科領域の病名について「障害」から「症」への名称変更が提案されており、世界保健機関の国際疾病分類第 11 版を踏まえ、国内でも「神経発達症群」という名称が用いられるようになっている 一方、現在も法令や行政施策等において「発達障がい」という名称が広く使用されている。医学的な用語や社会的な認識が変化していることを踏まえ、本市における「発達障がい」及び「神経発達症」の表記の現状について伺う 【答弁を求める者】 関係部長

一般質問（２日目） 令和８年９月１０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	奥 間 綾 乃 (無 所 属) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 奥武山公園の一体的整備について 2 道路交通安全対策について 3 のうれんプラザ貸切バス乗降場について 4 首里城復興及び正殿完成後の地域振興について	令和５年６月定例会で提案した奥武山公園の一体的整備について、以下伺う (１) 市長答弁以降の沖縄県との協議・意見交換の実績及び進捗について伺う (２) 県のスタジアム整備及び本市のスポーツ観光交流拠点整備等の進捗について伺う 令和５年６月定例会で安全対策を求めた、てんぶす那覇前交差点から桜坂、開南、のうれんプラザ周辺について、以下伺う (１) 県警等との協議・要請及び改善等の対応が必要と考えられるが見解を伺う (２) 横断歩道、停止線等の道路標示及び区画線、道路照明、舗装等の点検・改善状況について伺う 令和５年６月定例会で利用状況等について質問した、その後の運用について以下伺う (１) 営業時間・料金見直し後の年度別利用台数、使用料収入及び維持管理費について伺う (２) バス関係者へのアンケート・ヒアリング結果、それを踏まえた改善策とその効果及び今後の利用促進策・施設運用について伺う (１) 令和元年１２月の一般質問で提案した宮崎県日南市の飫肥杉活用のその後の経緯及び復元に使用された主な木材と産地について伺う (２) 那覇市に寄せられ、その後沖縄県へ移された首里城復興寄附金の活用状況について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 電子投票の導入について	(3) 正殿完成後の首里地域への周遊促進及び観光・経済振興の取組について伺う 行政D X及び選挙事務の簡素化・効率化の観点から質問する 電子投票を導入している先進自治体の事例及び導入効果、本市の直近の選挙における開票従事職員数、開票時間、開票経費等を踏まえ、市民の利便性向上、投開票事務の迅速化、職員負担・経費削減等の観点から、電子投票の導入可能性について伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、選挙管理委員長、関係部長

一般質問（２日目） 令和８年９月１０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	外 間 有 里 (なは自民・無所属の会)	1 選挙行政について	(１) 期日前投票における本人確認について、入場券や身分証明書の提示が必ずしも義務付けられていない中で、職員による目視確認や疑義が生じた際の対応など、どのように厳格性を担保しているのか、具体的な運用状況を伺う (２) 本市として、１人１票の原則を確実に守るために、本人確認や投票管理体制の見直し、強化を行う予定があるか、見解を伺う
		2 教育行政について	(１) 2023 年 2 月定例会において「体験格差」の是正に向け、学習塾だけでなく、スポーツ、文化芸術、自然・社会体験といった「多様な体験機会」の提供を見据え、「まなびクーポン」の利用拡大を提案した。そこで、現在の課題をどのように捉え、本市として今後どのように取り組んでいくのか、伺う (２) 体験格差に焦点を当てた実態調査をすべきではないかと考えるが、本市の見解を伺う
		3 公園行政について	牧志南公園、緑ヶ丘公園、希望ヶ丘公園について、前回の質問（2024 年 6 月）以降における、各公園の進捗状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、選挙管理委員長、関係部長

一般質問（２日目） 令和８年９月１０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	立 津 伸 城 (公 明 党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 密集住宅市街地再生方針について 2 空き家対策について 3 高齢者支援について 4 教育行政について	「密集住宅市街地再生方針」においてモデル地区に選定されている識名１丁目地区において、まちづくり勉強会が開催されているが、勉強会で得られた課題や成果、地域住民からの意見について伺う (１) 台風等の自然災害により空き家が破損し飛散物などにより近隣住民に被害が及んだ場合や、道路などを塞ぎ通行ができない場合の本市の対応について伺う (２) 空き家に関しては、複雑な権利関係により誰が責任を持って管理するのか分からなくなっているケースが多発している。本市としての今後の取組について伺う (１) 階段昇降が困難なために買い物や外出ができない高齢者の実態について、本市としての現状の認識を伺う (２) 直近の夏期において、熱中症で救急搬送された高齢者のうち自宅等にエアコンがなかった方がどの程度いたのか、本市としての現状の把握状況を伺う (１) 2030 年から導入が予定されているデジタル教科書について、教育現場におけるメリット及び課題をどのように認識しているか、本市の見解を伺う (２) 今後の小中学校教育において、地域とどのように連携していくことが望ましいか、本市の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 道路行政について	生活道路の法定速度を時速 30 キロメートルとする改正道路交通法の施行を受け、本市における対象道路の把握状況や、市民への周知・安全対策の取組について見解を伺う
			【答弁を求める者】 関係部長

一般質問（２日目） 令和８年９月１０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	大 山 盛 嗣 (那覇ぬちぐくる) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 本市下水道整備事業について 2 那覇市空家等対策計画の改定について 3 本市における民泊問題について 4 災害時等の地下水の利用について	本市の下水道の整備は全国・沖縄県に比べても進んでおり、評価している。過去３年の普及率の推移と、下水道に接続できていない世帯数、および令和７年度においてもくみ取り式のトイレを使用している世帯数を伺う また、単独浄化槽と合併式浄化槽の設置数について伺う 那覇市の人口は近年微減のフェーズに入る一方、単身世帯増加や同居の減少で世帯数は増えている。そのような中で良好な住宅ストックの維持・増強が求められる。2018年に計画期間１０年で策定された那覇市空家等対策計画は９年を迎え、今年度改訂を計画し、「那覇市空家等対策計画改定業務委託」に約１千万円の予算をつけている。国が２０２３年に「空家等対策特別措置法」を大幅改定した事を踏まえどのような改定を行いどう実効性のある空き家対策を行っていくか伺う 多様化する観光ニーズに応えるために観光庁が従来推進してきた民泊であるが、周辺住民などのトラブルの増加で７月に観光庁が方針転換を行っている。本市にも観光庁から７月１５日付で住民環境を損なう恐れがある場合は条例で民泊の立地を規制できるという内容の技術的助言（通知）が届いている。本市の今後の対応と、民泊０日規制を行う際の条件や手続きなどについての見解を伺う 本市防災対策計画の第３編 地震・津波応急／第１２章生活救援対策の第一節「第１ 給水源の確保」に飲用以外の生活用水として、共同井戸、家庭の井戸、湧水等を活用するとあるが、地下水の利活用に関する調査・検討はどの程度進んでいるかを伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 寒水川樋川の整備について	市指定文化財「寒水川樋川」は旧寒水川村（現在の寒川町）にある湧き水で、村ガ－（共同井戸）として住民の大切な生活用水であった。樋から落ちてくる水は飲料水として、水槽に溜まった水は生活用水に、また溢れ出た水は下手にある原井戸（ハルガ－）の水留に集められ、農業用水として活用された。ハルガ－直下の石積みが壊れた部分に土嚢袋を置いて長年放置され、土嚢が決壊し雨天時に雨が階段に流れ出し大変危険である。また草刈の頻度が低いため、樋川にたどり着くのも危険な事がある。市としての見解を問う
		6 校務支援システムについて	今年度4月1日より市内の小中学校で導入された校務支援システム c 4 t h（シーフォース）について、導入経緯を伺う。慣れない新たなシステムになり、使い方がわからず、業務に支障をきたしている先生方が多数いるようだが、今後の対応方針を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（２日目） 令和８年９月１０日（木）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	我如古 一 郎 (日本共産党)	1 防災・減災 と助かった命 を守る対策に ついて	日本では数年に一度大地震が起き、毎年豪雨に見舞われ、多くの人が家や財産を失い、酷暑や厳寒の中での避難生活で命を落とす現実がある。7月28日に起きた熊本地震でも避難所の雑魚寝、パンばかりの食事、不衛生なトイレという状態が、度重なる大震災を経ても十年一日のように変わっていない。避難所に冷房がないなどで車中泊が多数出ている。避難所に指定された公立小中学校体育館の冷房設置率は31.7%でしかない。那覇市はゼロである (1) 災害時の那覇市における被害想定と対策のアップデートが重要である。地震・豪雨災害それぞれに見解を問う (2) 停電に備え、避難所に太陽光発電と蓄電池、発電機の設置が求められる。見解を問う (3) 避難所で雑魚寝する状態を絶対なくす必要がある。ベッドやパーテーションの設置が可能な広さや準備ができているのか。見解を問う (4) 断水によるトイレ問題は深刻な課題である。簡易トイレや臨時トイレは、汚い、臭い、暑い、暗い、怖い、と言われている。特に女性は、なるべく行かないよう、水を飲まなくなり、脱水症状・熱中症への危険が高まる。対策を問う (5) 熊本地震でも災害用井戸が活躍している。市内で災害用に整備されている数と整備の意義、今後の対応を問う
	質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	2 国保行政に ついて	(1) 法定外繰入れによる、国民健康保険税への効果を問う (2) 国民健康保険法第44条（一部負担金減免制度）の認定状況を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 「不登校離職」について	不登校の子どもを持つ保護者が離職せざるを得なくなる「不登校離職」について、介護休業制度で不登校児のケアを広く対象と出来るよう柔軟な運用を行うべきである。不登校を契機に保護者が望まない離職に追い込まれることがあることを社会的に認知をして、支援することが望まれる。見解を問う
		4 旧盆について	旧盆の意義と今年の旧盆への学校の対応を問う
		5 識名霊園の草木ごみについて	例年、清明祭時の草木ごみの対策を指摘してきた。2026 年の状況と旧盆前の七夕で出される草木ごみについて対応を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長